



[WCC 釜山總會]

## 世界の教会「一致」に向けた陣痛

一致声明採択延期 11月6日再議論へ

「国民日報」

2013.11.05 21:52

<http://p.tl/L2UP>

世界教会協議会（WCC）は11月5日、釜山 BEXCO 会場で、教会一致の声明の採択問題について議論したが、正教会はドラフトに問題を提起し、採決は延期された。声明は生みの苦しみを経験している。声明は6日に再議論されて採用される可能性が高いと予想される。

「神の贈り物と一致への召し、そして私たちの献身」というタイトルの声明草案は、「異なる伝統を持つクリスチャンの正義と平和のために奉仕・連帯するのは、神の恵み」と明記し、「教会は分裂し共に一つの聖餐式を行うことができない状況にあるため、その代わりとして、キリストの礼拝と共同の生活、聖餐式的友情をもって、我々は目に見える一致を成し遂げなければならない」と強調している。この表現に対して、正教会の側から教会の職制と聖礼典の問題を提起して採用が延期された。これに関連し、総会準備会長のバクジョンファ牧師は「正教会が提起した問題は、現実の問題ではなく、神学的な案件」としながら「礼典を重視する正教会とは、形式的な面に微妙な違いがあるが、それは大きな問題ではない」と説明し、「6日には一致声明に合意がされるものと見られる」との展望を披瀝した。

今回の草案は、昨年9月の信仰と職制委員会が決定した「教会——共同のビジョンに向けて」という文書に基づいている。教会の一致は1961年にインド・ニューデリー総会以降継続的に議論された WCC の主要な関心事である。「教会の地理的な多様性の中の一致」を

皮切りに、「共同体性・教会の更新・共同ミッションとしての一致」等を強調してきた。

夕方の会議では、釜山総会を総括するようなメッセージを含むある草案が公開された。その草案とは、朝鮮半島の平和と創造の世界の保全、正義・平和・生命の重要性を強調したものであった。

同じ会議において、財務委員会の報告もなされた。その報告によると「今年の WCC の総収入が 3090 万スイスフラン（35 億 9280 万円）で、2006 年より 31%減少した」という。財務委員会の関係者は「メンバーの分担金の削減と共に、世界的な金融危機でスイスフランが急激に低下したため」と説明した。

午前中に行われた「一致」を主題とする全体会議でメアリー・タナー前 WCC のヨーロッパ代表の共同会長は、「クリスチャンの一致は、分裂した教派を一つにまとめることにとどまらず、様々な人種や文化などを超えて聖餐の交わりと礼拝、共同の奉仕、救いの福音をあかしとの共同ミッションを達成することにある」と明らかにした。ルーマニア正教会の司教は、「一致を見つける旅路を通して、我々は、懐疑主義・落胆・敵対心を克服し、苦しんでいる人々のために祈り、平和的な解決策を見つけなければならない」と述べた。世界バプテスト連盟（BWA）総幹事は「様々な教会が存在しているこの世界に、自分と同じ教会だけを求めようとする。そうした姿勢に、教会の中でさえ人種差別が頭をもたげていることが分かる」と指摘した。同氏は、「貧困と搾取、病気という世界的な状況を改善するためには、教会がその自己中心性を抜け出さなければならない」と語った。

釜山=シンサンモク [ベクサンヒョン記者 smshin@kmib.co.kr](mailto:smshin@kmib.co.kr)